

目次

第 1 章 ArcGIS Pro とは.....	5
本コースの目的.....	7
スケジュール.....	7
ArcGIS	8
Web ページ: ArcGIS を学ぶ.....	8
ArcGIS Pro の技術情報.....	9
Web ページ: ArcGIS を使う.....	9
ArcGIS Pro とは	11
GIS とは.....	11
ArcGIS Pro.....	12
プロジェクト.....	12
ArcGIS Pro のインターフェイス	13
データの構造.....	13
レイヤーとデータの関係	14
ArcGIS Pro 2.x と 3.x の互換性	14
演習 1: ArcGIS Pro の基本操作	15
FAQ	15
演習 1: 基本操作.....	17
ステップ 1: ArcGIS Pro の起動と新しいプロジェクトの作成.....	17
ステップ 2: フォルダー接続	20
ステップ 3: データの追加	22
ステップ 4: レイヤーの表示設定	24
ステップ 5: マップのナビゲーション.....	27
ステップ 6: プロジェクトの保存	28
第 2 章 住宅密集地域の延焼	29
属性情報の確認.....	31
シンボル設定.....	31
属性値に基づくシンボルの例	32
外部の表データから情報を結合	32
演習 2A: 住宅密集地域の特定	33
解析機能	33
検索機能	34
演習 2B: 住宅密集地域における延焼解析.....	34
演習 2A: 住宅密集地域の特定	35
ステップ 1: 属性情報の確認	35
ステップ 2: シンボルの設定	39
ステップ 3: CSV から情報を結合	40
ステップ 4: 長屋の数によるシンボルの設定	44

演習 2B: 住宅密集地域における延焼解析	47
ステップ 1: 建物から 3m の範囲を表示	47
ステップ 2: 延焼範囲に重なる道路の抽出	49
ステップ 3: 属性条件で選択	50
ステップ 4: 空間条件で選択	52
第 3 章 台風の進路の可視化	55
テーブルからポイントを作成	57
ラベルの設定	57
対話的なフィルター設定	58
時系列データの視覚化	58
アニメーション	59
演習 3: 台風の進路の可視化	59
演習 3: 台風の進路の可視化	61
ステップ 1: 既存のプロジェクトを開く	61
ステップ 2: XY テーブルからポイント データを作成	62
ステップ 3: 最大風速によるシンボルの設定	63
ステップ 4: ラベルの設定	64
ステップ 5: レンジ スライダーの設定	66
ステップ 6: タイム スライダーの設定	69
ステップ 7: アニメーションの作成 (オプション)	71
第 4 章 浸水状況を 3D で表現	75
ArcGIS データ用語	77
フィーチャクラスの保存形式	77
座標系	78
(参考) 座標系の設定	78
データの新規作成	79
フィールドの追加	79
新規フィーチャの作図	80
画像に位置情報を付与	80
演習 4A: 浸水域データの作成	81
2D マップ → 3D シーン	81
ローカル シーンとグローバル シーン	82
フィーチャの立ち上げ	82
ビューのリンク	83
演習 4B: 浸水状況を 3D で表現	83
演習 4A: 「浸水域」データの作成	85
ステップ 1: ファイル ジオデータベースの作成	85
ステップ 2: フィーチャクラスを作成	87
ステップ 3: 属性情報を格納するフィールドの追加	89

ステップ 4: 「浸水域」フィーチャの作成	90
ステップ 5: 「浸水域」に深さの情報を追加 (オプション)	94
ステップ 6: 画像に位置情報を付与 (オプション)	95
ステップ 7: 新しい画像として保存 (オプション)	99
演習 4B: 浸水域を 3D で表示	101
ステップ 1: 作成した 2D マップを 3D シーンに変換	101
ステップ 2: 浸水を 3D でシミュレーション	102
ステップ 3: ビューのリンク	106
第 5 章 成果物を共有	109
レイアウト	111
レイアウトの作成	111
レイアウトに 2D マップ / 3D シーンを追加	112
レイアウトにエレメントを追加	112
マップの出力	113
ArcGIS Online	113
ArcGIS Online 上で共有	114
演習 5: レイアウトの作成	114
演習 5: レイアウトの作成	115
ステップ 1: レイアウトの作成	115
ステップ 2: レイアウトにマップを追加	116
ステップ 3: レイアウト上のマップの縮尺を変更	118
ステップ 4: レイアウトにテキストと凡例を追加	119
ステップ 5: レイアウトに方位記号と縮尺記号を追加	121
ステップ 6: レイアウトの出力	123
ステップ 7: Web レイヤーの共有 (オプション)	126
ステップ 8: Web ブラウザーでマップを閲覧 (オプション)	129